

# 宿主・共生体の相互作用解析を通じた

## 抗病原体メカニズムの解明

Analysis of host-symbiont interaction

to elucidate the mechanism of anti-pathogen defense system

### 調査研究の概要

寄生虫やウイルスが引き起こす感染症群は世界的な脅威であり、国際社会が協力して解決すべき課題である。これら感染症の多くは昆虫に媒介されているが、昆虫の共生微生物の中にはウイルスや原虫等を媒介する能力を低下させるものが存在する。本課題では、微生物が昆虫の抵抗性を操る分子メカニズムを調査し、将来的に幅広い感染症対策への応用へと繋げるための検討を行う。

### 連携体制

#### 産総研

昆虫が媒介する熱帯病の創薬研究を遂行中

感染症の従来研究領域

#### 筑波大学

ウイルスや寄生原虫の遺伝子発現機構の研究で実績

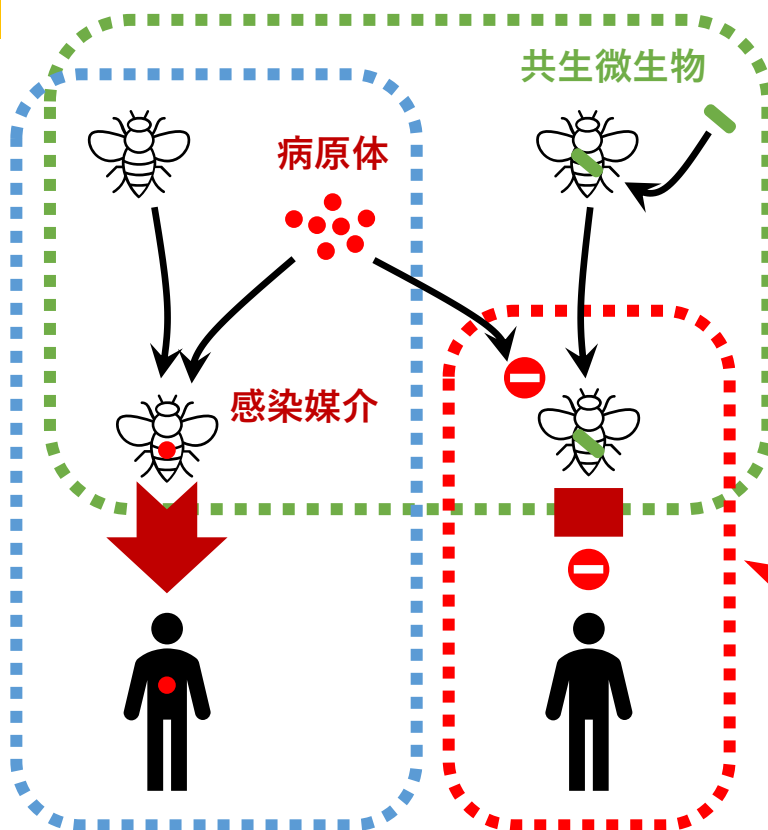
#### 農研機構

昆虫に共生する微生物の専門家

昆虫や共生微生物の知見

新たな感染症対策への応用可能性

本調査研究の焦点



将来的には複数のSDGsに貢献可能な研究へと発展させられる可能性がある

3 すべての人に健康と福祉を



昆虫が媒介する感染症への対策により、人や家畜の健康を守る

6 安全な水とトイレを世界中に



化学的殺虫剤の使用を削減し、水系への有害物質の流出を減らす

15 陸の豊かさを守ろう



駆除される感染症媒介昆虫を減らし、陸上生物種の多様性を守る